



五月会の慰問公演



藤枝市中ノ合 26-1
医療法人社団 ^{やしまかい}八洲会
誠和藤枝病院
<054> 638-3111 (代)

診療時間
月～金
午前 9:00～午後 5:00
土曜日
午前 9:00～正午 12:00

研修医時代の思い出

誠和藤枝病院
袋井みづかわ病院 理事長 藤森 暁彦
はいなん吉田病院

私は研修医として、昭和五十二年、福島県会津若松にある、私立の竹田総合病院に約三年間勤務いたしました。その年は、東北大学はストの影響のため卒業生が出ず、急ぎよ新潟大学に募集が来た訳です。大学の病院に行く渡り廊下に『内科研修医募集・五百万』と小さな張り紙が貼られていました。まあ、この様な紙切れ一枚で、その後の人生が決ってしまうものです。五百万というお金に惹かれ、又「長い人生、二、三年会津で過してもいいか」と思い、一人で行くのも心もとなく、当院に日直で来られている益山先生と他一人を誘い行くことにしました。袋井みづかわ病院院長の滝沢先生も一緒でした。病院は精神科も合わせて千五百床位ありました。医師は全科で五十、六十人位でしょうか。内科一病棟五十床を医長と一年目、二年目の研修医の三人で受け持ちました。

朝七時半の抄読会から始まり、カンファレンスがあると帰るのは夜十時頃でした。即戦力として半年位から外來に出されました。「あまり自信が無い。」と話す、先輩達が「大丈夫だよ。昔から小児科三日、内科三週間と

言われているよ。」と励ましてくれました。それは、優秀な医師なら出来るかもしれないが、胃の透視のフィルムを何か異常があるか、一生懸命読んでいたら、付いていた看護助手さんが「ほら、ここに食道カルチがあるじゃないの。」と教えてくれた事もありました。『門前の小僧、習わぬ教読む』のたとえではないですが、何年も消化器外來で、医師の説明を隣で聞いていたので、へたな研修医よりもずっと読めるのでした。夜間当直が月一、二回ありました。当直と言っても救急外來で、当時は一人でもかかされていました。五時頃降りてゆくと、もう二、三十人が待っていました。その間に、内科外科を問わず、しかも予告もなく救急車がはいってきました。遠くは、奥会津、新潟県側からも来ました。準夜帯は、婦長、主任クラスが二人いて、てきぱきと対応し、手に負えなければ、すぐに外科や脳外科の医師が呼ばれました。今から思えば、大した経験も無く、患者さんを診察し治療したことに申し訳なく思っております。

一番大変だったのは、夜間患者さんが死亡した時、病理解剖の承諾を取り、すぐに解剖をしなければならぬ事でした。地下の霊安室の奥の病理解剖室で行うことは、はじめはあまり気持の良い物ではありませんでした。一五世紀に、あの天才レオナルド・ダヴィンチは、夜暮から死体を掘り出し、助手と二人で、ろうそくの灯のもとで解剖し、たくさんの図譜を残しておりますが、あらためてその探究心には感服いたします。

その当時は、城下町会津という土地柄か、医師は大切にされ『お医者様』と言われ、今から思えば良き時代でした。『患者様、看護婦さん、医者』と呼ばれる今日とは隔世の感がします。

医局の宴会は、郊外にある東山温泉でやることもあり、芸者さんとも遊び、若いのにこんなことをして良いのかと思う時もありました。会津の良さは酒の良さといわれ、宴会が多く、新年会から始まり、花見・納涼祭・芋煮会・忘年会、その間に歓送迎会がありました。研修医はロー

テーションで回った病棟、外来など色々の所からスポンサーも兼ねてお呼びがかかりました。なぜなら二次会以降はすべて研修医が支払いを持つのが習わしでした。私の上司である医長の先生から、一番初めにその様に教育され、さらに「酔っても必ず誰かが見ているから決して醜態をさらしてはいけない」とアドバイスされました。おかげで、学生時代はビールはコップ一杯位しか飲めなかったのに、少しは飲める様になりましたが、戴いた給料のほとんどは飲み会で消えました。

病棟ではいわゆるカルテという物は無く(看護記録はありました)、一か月一枚の温度板がすべてでした。指示はすべて口頭か電話でした。病棟主任がそれを温度板に記入しました。小児科にいた時、小児癌の患者さんに抗がん剤の指示を出しました。それを一度自分で点滴してみたいと、担当の看護婦さんに話したら、「先生止めて下さい。万一漏れたら大変です。」と言われ、そういうものかと思っていました。後年、防衛医大に勤務して、同じ様に注射の指示を出した所、看護婦さんが注射をセットしてきて「ハイ。では行きましょう。」と言われました。それで、はじめて注射は医師がするものとなりました。

今考えても、私の臨床の原点は会津の竹田総合病院であると思っております。

備えあればうれいなし

防火防災委員長 杉本 正善

八月十一日早朝、突然ギシギシと部屋が激しく揺れ、飛び起きた。「地震だ!」「ついに東海地震がきたか!」恐怖が体を走る。揺れは十秒間程度でおさまったが、その間はベッドに坐ったままでもなにもできなかった。テレビのスイッチをつける、既に地震速報が報道され駿河湾沖の震源で、私の住んでいる焼津市は震度6弱。地盤が良かった為か被害は殆ど無く、津波の心配も無かった。

次に病院に連絡し、被害状況を確認。2A病棟の天井から多量の水漏れの状況報告を聞き、緊急連絡網を回すが電話・携帯がつかない。職場につき、先に着いていた職員と水漏れの処理にあたった。幸いなこと患者様、職員に怪我はなかった。

今回の地震では大災害に至らなかったが、今後、確実にくる東海地震に備え、この地震で得た教訓を秋に予定する防災訓練に活かしていきたい。

納涼祭

納涼祭の感想

3A病棟 介護職員 藤永 洋子

八月十九日に納涼祭が行われました。今年度入職したばかりなので、初めての行事でした。レクリエーション委員なので、患者様をお連れして会場へ行きました。

出店があり、食べ物も普段と違う為か、焼そばやおでんなど、おいしそうにパクパク食べている様子が見られ、驚きました。

舞台では五月会の方々による踊りを楽しみました。若かりし頃、御自分が踊りをやっていた方もいて、目を輝かせて見ていました。他の皆様も、祭りの雰囲気を楽しめた事と思います。これからも季節感、伝承行事を参考に患者様が喜んで下さる行事ができるように皆で考えていきたいと思えます。

納涼祭

2A病棟 看護師 塚本 裕子

今年も恒例の納涼祭が行われました。

ハーモニカの演奏、踊りの鑑賞、

一番の楽しみである職員による出店。「おでんおいしかったよ。」「カキ氷久しぶり。」と、夕食は大丈夫?と思う程の食欲でした。面会に来られた患者様のご家族も、大変喜んでくださいました。

普段見られない、患者様の笑顔が見られ、私達職員もうれしく思いました。

楽しかった納涼祭

1B病棟 介護職員 大石 恵子

「良かったよ。」「おいしかったよ。」「踊りが良かった。」と、みんな笑顔で楽しんで来ました。

人ごみが苦手で食事の時ホールに出ないし残食も多い女性Iさん、食べ物に誘われて出掛け、全種類いただいて帰ってきました。

今までイベントに誘っても腰が痛くなると行った事のない男性Sさん、部屋の人達が行ったら気になりだし「どういう人が行くだ。」と何度も言い出していました。結局病棟のおやつを食べた後に出掛け、四品を食べて喜んで帰りました。

「良かったね。おいしい物が食べられて。」「何が…何も食べちゃ

「いないよ。」
 なんて少し経つと忘れてたりしている人もいるけど、その時が楽しければいいんですよね。

納涼祭を終えて

2B 病棟 看護師 望月 夫慈子

真夏日の朝より、車椅子乗車の患者様多数とハーモニカ演奏、なつかしの曲に、奏者も聴衆も手動かしたり、ハミングや歌を唄ったり、音楽療法で心地よくホットなひと時を過ごしました。午後は踊りと模擬店、法被姿で祭りを盛り上げて「いらっしゃい、氷はいかが」と大きな声で、「カキ氷いちご」といつもより弾んだ声が聞かれ、「焼そばがおいしいね」と使い慣れない『割り箸』を思うより上手に使う姿に笑顔がこぼれ、地域に根付いたボランティア協力で、ひと時の清涼感を味わうことができました。

日々医療、環境の変化する中、再就職で戸惑いながらも看護職として働いています。本日は誠和藤枝病院職員協力のもとに納涼祭を行えた事に感謝しています。

新入職員自己紹介

本年度、リハビリテーション科に新しい職員が 8 名入りました。職種も経験年数も様々ですが、皆で協力して患者様のために頑張っていきたいと思っております。宜しくお願いします。

①梶田 学

- ②理学療法士
- ③ギター
- ④音楽鑑賞
- ⑤年相応に見られない顔
- ⑥一人でも多くの患者さんの笑顔が見れるように頑張ります
- ⑦バイクで日本一周

①原田 彩乃

- ②理学療法士
- ③即寝 zZZ
- ④音楽鑑賞 (No Music No Life) トモダチと Free Talk
- ⑤重~~~~~たい目
- ⑥笑顔を忘れず、日々成長していきたい↑↑
- ⑦ディズニーランドで結婚式 結婚式には愛犬も呼びたい

①・氏名

- ②・職種
- ③・特技
- ④・趣味
- ⑤・チャームポイント
- ⑥・抱負
- ⑦・夢



①磯野 章好

- ②作業療法士
- ③卓球
- ④テレビゲーム
- ⑤短足
- ⑥無遅刻・無欠勤
- ⑦タヒチ島へ旅行

①植田 麻美

- ②理学療法士
- ③よく寝る
- ④音楽鑑賞・お買い物
- ⑤背が低い・童顔
- ⑥少しでも多くの患者様の役に立てるように頑張ります
- ⑦海の見えるチャペルで結婚式

①山田 恭平

- ②理学療法士
- ③カレーのルーをこぼさず盛れる
- ④妄想
- ⑤へこんだ頭
- ⑥一千万目指して頑張るぞ!!
- ⑦ケーキ屋さん

①鈴木 奈誉

- ②言語聴覚士
- ③落書き
- ④喫茶店でのんびりする事
- ⑤黒髪のお古風な顔
- ⑥患者様に信頼してもらえる言語聴覚士になれるように先輩方を見習いながら頑張っています
- ⑦クジラと泳いでみたい

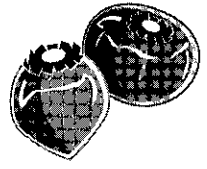
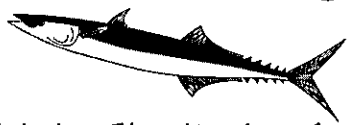
①落合 康仁

- ②作業療法士
- ③大食い
- ④音楽・ダーツ・ビリヤード
- ⑤眼鏡・坊主・二の腕がスベスベ
- ⑥みんなを幸せにする
- ⑦結婚

①増田 理恵

- ②作業療法士
- ③長距離走
- ④買い物
- ⑤よくしゃべる口 臭いに敏感な鼻
- ⑥もっともっと勉強します
- ⑦世界一周旅行

秋の食べ物で健康になりましょう!!



食欲の秋がやってきました。秋のおいしい食べ物の栄養や特色を知って旬のウマサを極めましょう。

栗

【栄養】

デンプン・ビタミンB1・Cを多く含んでいる。渋皮に含まれるタンニンは抗ガン物質として最近、脚光を浴び始めている。

【効能】

筋肉や骨を丈夫にする働き、胃腸を丈夫にし血液の流れを良くする働きがある。

サシマ

【栄養】

サンマの蛋白質は牛肉やチーズより質が優れている。サンマに含まれるEPAには血栓防止効果、DHAは脳に働き学習能力を高める効果あり。苦めの腹わたにはビタミンAが豊富。

【効能】

胃腸を温め疲労を取り元気を出してくれる。EPA・DHAはぼけ防止に効果あり。

柿

【栄養】

ビタミンCが多く、大きめの柿1ケで1日に必要なビタミンCがとれる。また、ビタミンAやペクチン（食物繊維）、カリウムの働きで動脈硬化・高血圧の防止に効く。

【効能】

酒の酔いざましに効果があるのはよく知られているが、実は飲酒の前に食べておく方が効果が高い。

むつも芋

【栄養】

熱に強いビタミンCが豊富。またビタミンEは玄米の2倍、コレステロールに強い食物繊維も多い。

【効能】

消化器系の働きを高めて胃腸を丈夫に、また体を元気にする。気力のない時ストレスのために食欲がない方にも有効。

*食欲の秋だからと言って、食べ過ぎるのは、体重のアップ・健康のダウンにつながります。食欲中枢が乱れてしまう前に食べ方に注意しましょう。

- ① 規則正しい食事を心がける
- ② よく噛んでゆっくりと食べる
- ③ テレビや新聞を見るなど、『ながら食』をやめる
- ④ 食事をする時は、まず汁物などでお腹を落ち着かせる

職 員 募 集

- ◎正・准看護師
- ◎介護支援専門員
- ◎介護職員

詳しいお問い合わせは (054) 638-3111 担当 事務長まで

編集後記

中庭のアメリ力楓が色づき始め、いよいよ紅葉のシーズンになりました。日光や嵐山など紅葉の名所は多々ありますが、患者様と日向ぼっこをしながら院内の窓から眺める紅葉も、趣があつて良いものです。

